

子どもの声を聴く・子どもの姿から考える

素敵なピアノの音色につられてリズム室に行くと、2歳児クラスの子ども達がとても楽しそうにピアノに合わせて踊ったり遊んだり。しばらく遊んだ後、担任が「もうすぐSHOWTIMEっていうのがここであるってこの間お話ししたの覚えてる？」と話します。

担任「お母さん達がみんなどんな遊びしてるか見に来るんだって！」
お母さんが来てくれる！というワードに嬉しいが大爆発な子ども達。嬉しくってたまらない。そんなウキウキ、ワクワクな子ども達。ちょっとだけドキッとする顔も見られます。

そんな中、子ども達の姿や発言、表情の変化などいろんなことを見逃すまいと丁寧に子ども達の声を聴いたり、話す場所を変えたりする担任の先生。聴き方を工夫し子ども達の「やってみたい！」を探していました。

きっと大人が「これやってみよう！」と伝えるのは簡単。だけど「この子達はきっとこんなことができるんじゃないかな…。こんな姿がとっても楽しそうだったな…。この一年こんな育ちがあったんだよね…」という、保育者としての想いをどう子ども達と一緒に表現しようかと子どもの姿や声を真ん中に考える担任の先生がとても素敵に感じました♪

2025/11/05

